

—南中学校跡地利用— 『三鷹光器株式会社』に決定

町では、南中学校跡地利用について、東京都三鷹市の精密光学機器メーカー『三鷹光器株式会社』の事業用地として活用することを決定しました。



平成22年12月22日 南中学校跡地利用検討委員会(小池一夫委員長)から「南中学校跡地利用検討について(報告書)」の提出を受ける町長
—役場町長応接室



平成22年12月24日 三鷹光器株式会社の南中学校跡地利用への誘致について記者発表する町長と三鷹光器株式会社関係者
—役場全員協議会室

三鷹光器株式会社の南中学校跡地利用について(基本合意)

平成22年12月24日

富士見町は南中学校跡地利用に関し、三鷹光器株式会社の事業用地として活用することを決定しました。去る6月29日、町長より検討委託を受けた南中学校跡地利用検討委員会が発足し、慎重に検討した結果、12月22日、委員会の選定結果が町長に報告されたので、正式に町としての意思決定を行いました。直ちに三鷹光器株式会社と、事業進出につき以下のとおり基本合意しました。

1. 平成23年度より、三鷹光器株式会社の有する技術を使った太陽集光装置の製作と、その利用実験を行う。製造は主として現存体育館を利用し、校庭を利用実験の場とする。
2. 脳神経外科手術用顕微鏡の製造を校舎管理棟で行う。
3. 非接触三次元測定器の製造を、その他の校舎で行う。
4. 高精度科学技術用天体望遠鏡の製造を行う。
(製造された望遠鏡は、できるだけ長期間、地域、都会の青少年に宇宙の神秘と科学のすばらしさを体験させるために、利用できるように検討する。)
5. 校舎の外観、桜・白樺等の現存する植栽や景観は、原則保存する。ただし、木造校舎の床等、製品製造に必要な内部の改造は行う。
6. 町は以下の事項を行う。
 - ①地元からの雇用支援
 - ②許認可案件の処理の支援
 - ③環境への指導・助言
 - ④地元、地域との良好な関係を築くための指導・助言

〈三鷹光器株式会社の事業誘致が

町にもたらす利点)

1. 雇用促進
2. 部品等できるだけ地元企業を活用し、活性化に貢献する。
3. 校庭全体に降り注ぐ太陽光を集光し、他のエネルギーに変換する仕組みは景観的にも大きな蓮の花のように見え、富士見町の科学、美しさをアピールでき、大きな観光スポットとなる。
4. 太陽集光装置は、既に世界各国の関心が高く、外国の技術者等が多数訪れ、多くのメディアでも全国に報道される可能性があり、富士見町の知名度アップにつながる。観光事業への波及の効果大。
5. 富士見町子どもたちは、科学の素晴らしさを実感でき、将来への夢や希望を広げられる。
6. 共通なテーマを研究している信州大学、東京理科大学、新潟大学との真の産学共同の研究所モデルが、富士見町に実現する。

以上、富士見町としては、このたびの三鷹光器株式会社の富士見町進出を大いに歓迎するとともに、世界のトップ技術が富士見の地に根付き、永遠に発展することを期待しています。

南中学校跡地利用検討の経緯

平成21年12月15日	南中学校跡地利用アイデア募集。58人から131の意見・アイデアが寄せられた。
平成22年 6月29日	南中学校跡地利用検討委員会発足。
9月 1日	南中学校利活用案募集。5件の提案が寄せられた。
12月 5日	南中学校跡地利用プレゼンテーション 2団体実施
12月22日	南中学校跡地利用検討委員会が「南中学校跡地利用検討について(報告書)」を町長に提出。
12月24日	三鷹光器株式会社の南中学校跡地利用への誘致を決定。記者発表。